

## 村長の日記

---

9月2日（日）

大阪府ポンプ操法大会（大阪府立消防学校）

**7:30**

菊井課長と役所出発。朝が早いので5時に起きた所、既に長男がいない。消防団の皆さんは朝5時より実戦を想定した練習を行うので、4時45分に集合がかかっていた。4時30分頃に家を出たらしい。

今日はいいい天候で少し暑いようだが、挨拶がありスーツネクタイ着用。消防学校へ30分前に到着、校長室へ。竹内副知事、校長の三枝さん、大江危機管理監、府議会議長 他の皆さんがいる、少し遅れて原田先生も到着。河内長野市島田市長、島本町山田町長も同席、今日は市町村長代表の挨拶がある、少し緊張しながら会場へ。

府議会議長挨拶のあと、私の挨拶。

競技開始。村はポンプ操法の5番目、どのチームもかなり練習しているのがわかる。千早赤阪村のアナウンスがあり、村消防団の順番。スタートから順調にホースが伸びて行く、放水開始、ポンプスタート、なかなか水が出ない。ホースが絡まっている、数秒後水が出た。残念ながら敢闘賞に終わった。

**16:30**

消防団 打ち上げ

平均年齢の低い皆さんは、やはり元気が良い。ビール、酒、焼酎、ワイン、瞬く間に空瓶の山。若いことは良い事だ、無限の可能性を見た。

9月4日（火）

**10:00**

9月議会開始 開会挨拶

挨拶の後、台風21号予報、大阪湾通過13～14時頃。台風に備える為10日に延会、10分で閉会。

12時前、21号四国上陸、村は台風の気配無し、時々突風が吹くだけ。14時過ぎ、急に風雨強くなる。15時、役所の天井から雨が漏りだした、小便小僧ほどの勢い。老朽化の影響かと思ったが、あまりの吹き降りに2階の窓から雨が吹き込み、下に漏れ出した。外を見ると、駐輪場の屋根が飛んでいる、バイクが倒れている。でかい音を立てて風が吹いている。雨台風は何度か経験した、しかし風が強い台風、

## 村長の日記

---

正に大嵐。こんな経験は1度だけでよい。電気が消えそうですぐ元に戻ったことが2~3回、TVで風台風の状況を見た事は何回もあるが、風の怖さを肌で感じたには今回が初めて、村の中で樹が大量に倒れているようだ。1時間もすると嘘のように台風が収まった。風で倒れた木の処分を、明るい間に可能な限りすることで、車の通行を確保する必要がある。役所にあるだけのチェーンソーとトラックを動員して、職員の皆さんが出動していった。

私もチェーンソーを取りに家に帰り、千早の老人憩いの家の寄ったところ、停電。年寄りの皆さんに電気が無いと何もできない、「早く電気を」と10数人に要望された。

ここから、

9月議会開催日に関係なく議会を連続で記載する。[（※議会内容終了）まで連続記載]

9月4日（火）

9月議会初日、10時開会。

開会挨拶

台風接近予想の中、全員ご出席頂き、ありがとうございます。

9月議会から、議場をここ保健センターに移動させていただきました。議長並び議会の皆さんが快諾していただいたおかげと、職員ともども感謝しています。おかげで役所建設のスタートが切れました。コンパクトで住民皆さんが利用しやすい役所を出来るだけ早く建設し、皆さんと共に過疎からの脱却に進みたいと思います。

今年は7月以来、連日猛暑が続き、各地で豪雨、地震など天災が続いています。気象変化も著しく、太平洋沿岸では熱帯系の魚類が徐々に増え、地球温暖化の影響です。ハワイ、台湾からのインバウンドの皆さんが「日本は暑い」と言われるほど、日本の気候変化が激しい。いまリジリエンス、国土強靱化が政治課題となり、実現に向け政府が実現に力を入れていますが、少子化、高齢化が進み扶助費の増加スピードが速く、実現がおぼつかない情勢です。村でも扶助費の増加と安全安心のバランスを取りながら、気候変動と取り組んでいきたいと思えます。

後ほど審議いただく29年度決算は健全な状態ですが、村税等の自主財源が少なく、財政運営は地方交付税、国・府の支出金、依存財源に頼っています。309号線の早期改良、金剛山トンネル、富田林からのLRT建設が完成し、村が過疎から脱却する時が早く来る時を夢見

## 村長の日記

---

て、議員の皆さんと共に、いい村造りに励みます。  
挨拶終了後、台風来襲の恐れあり、10日再開で延会。

9月10日（月）

4日の本会議再開

議案第53号 一般会計補正(第3号)、

補正額：210万円 予算総額：36億6120万円

こごせ幼稚園関連費用 全員賛成。

議案第54号 一般会計補正(第4号)

補正額：1100万円 予算総額：36億7220万円

事務所移転費：620万円、消防費：430万円他 全員賛成。

議案第55号 村、報酬及び費用弁償条例改正

議案第56号 職員の退職管理に関する条例

議案第57号 災害被災者への村税減免条例改正。

議案第58号 家庭的保育事業の設備、運営基準条例改正

議案第59号 千早赤阪村環境条例制定

議案第60号 過疎地域自立促進計画の変更

以上6議案は総務民生常任委員会へ付託

議案第61号

くすのきホール等ESCO事業、業務委託の締結。

- ・ 目的、村くすのきホール等ESCO事業
- ・ 方法、プロポーザル方式による随意契約
- ・ 金額：2億2600万円

## 村長の日記

---

・ 相手：大和エネルギー(株)

全員賛成

議案第72号(追加) 一般会計補正(第6号)

補正額：1450万円、総額：36億4680円、

災害復旧費(台風21号分) 道路橋梁災害：430万円 文教施設：320万円

保育園 法面崩壊調査業務委託料：700万円

全員賛成

議案第62号 一般会計補正予算(第5回)

補正額：1億5100万円、総額：38億2330万円

総務費：1億2350万円(内積立金6700万円) 民生費：1550万円 農林水産費：140万円 土木費：160万円

消防費：40万円

議案第63号 国保特別会計補正

補正額：1480万円、総額：9億1370万円

議案第64号 介護保険補正

補正額：560万円、総額：6億7730万円

以上2議案総務民政常任委員会付託

議案第65号 金剛山観光事業特別会計補正

補正額：1010万円、総額：8100万円

文教建設常任委員会付託

報告第4号

実質赤字比率 ー (15.00)、( )内早期健全化基準

実質連結赤字比率 ー (20.00)

## 村長の日記

---

実質公債費比率	9.4	(25.00)
将来負担比率	—	(350)
報告第5号 平成29年度資金不足比率		
下水道事業特別会計	—	(20.0)
金剛山観光事業特別会計	—	(20,0)

議案第66号 平成29年度一般会計決算認定

議案第67号 国民健康保険決算認定

議案第68号 介護保険特別会計決算認定

議案第69号 後期高齢者医療特別会計決算認定

議案第70号 下水道事業特別会計決算認定

議案第71号 金剛山観光事業決算認定

以上6議案は決算特別委員会付託

委員は議員全員、委員長：山形議員、副委員長：田中議員

9月11日(火)

決算委員会

山形委員長で開会

一般会計

歳入 37億6540万円

歳出 36億0240万円 差引 1億6300万円

歳入の内訳

村税 5億3170万円 地方譲与税 1970万円

地方交付税 13億8740万円 国支出金 8770万円

## 村長の日記

---

府支出金	2億 3950万円	寄付金	1億 3240万円
繰入金	5億 2800万円	繰越金	1億 3440万円 他
歳出の内訳			
議会費	6400万円	総務費	11億 7680万円
民生費	7億 6800万円	衛生費	3億 3330万円
農林水産費	5600万円	商工費	1億 3650万円
土木費	2億 2190万円	消防費	1億 4070万円
教育費	2億 8840万円	公債費	3億 6730万円、
災害復旧費	4980万円	他	

### \* 国民健康保険決算

歳入総額	11億 0070万円(被保険者 1人当たり 641,000円)
歳入	10億 6060万円(1人当たり 618,000円)
差引	4010万円
直営診療所施設勘定	
歳入/歳出	4240万円
介護保険特会	
歳入	6億 7890万円(1人当たり 288,000円)被保険者 2352人
歳出	6億 4400万円(273,817)
後期高齢者医療特別会計	
歳入	1億 7120万円
歳出	1億 7000万円
下水道特会	

## 村長の日記

---

歳入/歳出 2億 1780万円

金剛山観光事業特会

歳入/歳出 1億 4210万円

(索道収入 6900万円)(香楠荘収入 3000万円)

9月12日(水)

総務民政常任委員会

議案第55号 監査委員報酬変更

監査回数、時間変更：月1回→3回、1回2時間→4時間

報酬：年14万円→28万円

議案第56号

- ・ 再就職者は役所離職前5年間の前職に関し、離職後2年間村職員に対し働きかけを規制する。
- ・ 再就職者は離職後2年間、規則で定める事項は届け出を行うこと。

議案第59号

「金剛山を守り育てる千早赤阪村環境条例制定」

平成29年3月議会で採択された請願により、村民多くの参画と協力を頂き、村の恵豊かな環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的として環境条例を制定する。

議案第60号

過疎地域自立促進計画は30年度実施に際し、事業の追加、事業費の増減があり変更。 他

(※議会内容終了)

## 村長の日記

---

9月11日

小比木八郎 内閣府防災担当大臣 来阪

**17:30**

和泉市北部リージョンセンター

大臣は、兵庫県、大阪府の台風21号被災状況視察と対策の為、おいでいただいた。

村は本日、総務民生常任委員会開催中ながら、議会の了承を得て府町村長会代表として災害復旧をお願いする為、15時過ぎ役所を出発。

小比木大臣は大柄で防災服が似合う、声の大きな、災害時に頼りになる人物。地元出身の神谷先生同席の上、要望会開催。

要望(市長会、町村会 合同)

- ・ 停電の早期復旧
- ・ 関西国際空港の早期完全復帰
- ・ 中小企業、小規模事業者、農家への支援
- ・ 行政への財政支援

大臣はスピード感を持って支援すると約束して、お帰りになった。

関空が閉鎖中なので、伊丹からのお帰りは残念だった。

竹内副知事、坂口 市長会会長、吉村 大阪市長、辻 和泉市長も同席。皆さんの要望は人口密集地中心の要望、市街地の強靱化は大切だが、村は府下唯一の山村、山地の強靱化(治山)をお願いした。

9月12日(水)

岸田総務会長 来阪 (リーガロイヤルホテル)

**11:00**

昨日は政府代表で小比木内閣府防災大臣来阪、今日は自民党代表で岸田総務会長が来阪、大阪の状況を視察いただいた。

市長会の坂口会長、町村会の私は防災服で参加、町村会には和田会長 武田町長の3人が参加した。

私達の願いは、まず財政的支援と共に電気に危機感を持っており、停電に対する要望が強い。高層マンションの多い大阪市では、停電によ



## 村長の日記

---

りポンプが使えず、水の無い生活が始まる。トイレ、風呂、生活水が使えない。エレベーターなしで街へ出るのが大変、エアコンは無し、TVはダメ、電気のダウンで携帯も不通、生活の全てが電気で支えられている。文化的な生活は電気があつてのこと、村は電気の依存度が町より少し少ない、停電には少しだけ強い。

自民党大阪府連の佐藤会長、原田議員、府会議員、市会議員揃って、私たちの要望を聞くチャンスを作っていただいた。復興の力強いサポートを望む。

9月19日（水）

### 町村長会 第3回定例総会

開会に際し、21号台風及び北海道胆振地震で亡くなられた方々の冥福を祈って開始。

- ・ ブロック塀安全確保  
大阪北部地震の際、ブロック塀倒壊により小学生が亡くなった。府、市町村で取り壊し費用を助成する。
- ・ 大規模災害への備え(ため池防災、減災対策)(地籍調査の促進)  
西日本豪雨でため池決壊、洪水が発生した。復旧には土地の境界確定が必要であり、確定なしに復旧は不可能。
- ・ 公民連携取り組みの促進  
行政での事業推進に民間からのバックアップを受け(アイデア、ノウハウ、資金など)、官民共同で事業推進の取り組み。
- ・ 大阪府地方税徴収機構の強化  
市町村から人材を集め、徴税のノウハウを叩き込むとともに実務を身につけ、徴税力を上げ、公平性を目的として徴収力を上げる。現在多くの市、町が参加し、徴収力アップに努めている。  
村は常に府下トップクラスの税徴収率であり、当分の間 現スタッフで徴税に当たる。
- ・ 府下1水道に向けたあり方協議会  
施設の老朽化、人口減による料金収入減など、水道の抱える問題は多い。広域水道企業団は現在3市町村が加盟、来年度より10市町村が加盟となる。府域1水道への道のりは遠いが、早く府域1水道を目指す。
- ・ 東京2020オリンピック聖火リレー

## 村長の日記

---

大阪では2日間、2020年の4月に聖火リレーが行われる。奈良県→大阪府→徳島県と聖火は送られる。各市町村の意向をくみ取り、組織委員会へ働きかけてほしい。

議事終了後、和泉市北部リージョンセンターでの小此木内閣府防災担当大臣による政府災害調査団、自民党大阪府連要請による、岸田政務調査会長との意見交換会の報告、石井国土交通大臣来阪への対応を報告し、町村会第3回定例総会は終了。

9月25日（火）

9月議会最終日

**議会一般質問**

藤浦議員

新庁舎建設事業の進捗状況について

現庁舎の老朽化などを踏まえ、平成25年に始まった新庁舎建設の事業は、紆余曲折を経て住民説明会・アンケートの結果で多くの村民に支持された現庁舎の敷地での建替えに向けて進めるべく、いよいよ今年度から基本設計がスタートしている。

3月議会、6月議会の「庁舎建設特別委員会」で説明を受けた中では、役場敷地の境界明示が確定していないなか、敷地利用にあたっては制約があるものの、開発許可が不要となれば事業は順調に動き出すものと思うが、現時点で計画のとおり進んでいるのか伺う。

国道309号3期区間の建設計画は

3月26日一般国道309号の「河南赤阪バイパス」の2期区間が開通した。このため、大型自動車などの交通量が更に増えていると聞いている。交通量が増えたことで、水分地区、川野辺地区のカーブ個所は歩行者にとって危険極まりない状況になっている。交通安全対策の面からも早急な3期区間の建設・整備が必要であるが、現在の進展状況について伺う。

田村議員

通学バスについて抜本的な再検討を

現在本村の通学バスは、幼稚園・小学校・中学校あわせて四台が運行されているが、幼稚園・小学校は無料、中学校は有料となっている。また特に千早地区に関しては、小学校への通学にはバスが運行されているが、中学校には金剛バスを利用することとなっており、通学補助があるとはいえ、有料となっている。

## 村長の日記

---

なぜ小学校では無料なのに中学校になると有料ということになるのか。小学校も中学校も同じく義務教育であることを考えると、その運用に一貫した方針があるようには思えない。これまでに様々な経緯があったことは承知しているが、一貫性に欠けた運用が望ましいとは言えない。通学バスについて改めて抜本的な再検討を行うべきではないか。

環境条例における「特定事業者」の規定について問う

本議会で議案として提出された「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」14条において「特定事業者」は「特定事業を行おうとする者」と定められている。しかし、「行おうとする者」との規定である以上、この14条の対象には「特定事業を行っている者」は含まれないということになる。たとえば、14条の対象となる特定事業者であっても、一旦事業を強行してしまえば、14条に規定された義務を果たすかどうかにかかわらず、14条の対象から除外されることになると考えられる。

14条は特定事業を「行おうとする者」についての規定であるが、特定事業が「生活環境に影響を与えるおそれのある事業」であることを鑑みると、特定事業を「行っている者」についての規定もまた必要ではないのか。その点について行政の考えを伺う。

関口議員

イノシシ被害対策の強化を

イノシシなど、鳥獣被害は年々増加し農業従事者の意欲を減退させるなど深刻だ。村での被害状況と対策強化にむけた今後の取り組みについて伺う。

住民の移動手段確保のために

住民の移動手段確保に向け、これまで公共施設とオークワ、地域を結ぶワゴン車運行で実証実験してきた。今年度はバス会社と協議を進め、路線バスのくすのきホールへの乗り入れ、森屋止まりのバスを中学校まで延伸された。また、高齢者や妊産婦、障害者へのタクシー利用助成を実施した。こうした実証実験をふまえ、今後地域公共交通の充実に向けて協議されるが、だれもが利用できる交通手段が必要と思うが、村の考えを伺う。

千福議員

村の危機管理体制について（避難行動要支援者の対応は）

近年、異常気象による自然災害が全国的に多発しております。今年も台風が次々と発生しており、8月と9月には直撃の形で上陸しています。その都度村より避難準備、避難勧告を発令されています。

## 村長の日記

---

そこで、各地区ごとに登録されている手助けの必要な避難行動要支援者の避難に向けての対応はどの様になっているのか伺います。また、非常時を想定した訓練の実施は。

村の機器や物品の管理状況は

村では、各課において様々な物品を中心として様々な機器等を取得されていると思います。そこで、各課においての管理がどのようにされているのかをお伺いいたします。

井上議員

見えない要支援者に「タイムライン」の活用を

災害時において、「要支援者」特に見た目には健常者と区別のつきにくい障害や病気をお持ちの方については、避難行動をとるタイミングが難しいと思われるが、個人情報保護の観点からも平常時に掌握し、対策が必要と思う。現状と考えを伺う。

鳥獣対策の現状と課題

本年3月にも質疑応答が行われましたが、被害の現状と協議会を経ての対策の実情はどのようになっているのか。府や国との連携が出来る体制づくりは、村行政の能力が必要だと思うが、考えを伺う。

山形議員

今後の村立小・中学校のあり方について

村立義務教育学校として、小学校2校、中学校1校という現状であり、3校とも児童生徒数が約100名という小規模校である。この規模を活かす上でも、私は常々、小・中一貫校の設立を願っている。ただ、財政的な面や立地条件などで難しい課題が多い。そのような状況下、今後の村立小・中学校のあり方に関し、次の2点について伺う。

- (1) 平成19・20年度の2ヶ年で4校の小学校を2校に統合された。ただ現在の2校も約100名の状況において、今後の小学校の統合についてどのように考えておられるのか。
- (2) 中学校は、現在の校舎が設立されて、約60年が経過している。史跡内の建造物であり、今後の改修等の計画を考える場合、様々な課題が生じると思われる。もし、仮に近い将来、小学校が統合された場合、残る一つの小学校施設に中学校を移転するという事も考えられるが、教育長の所見を伺う。

## 村長の日記

---

### 議会最終日の挨拶

あいにくの雨となり、また大型台風が「日本列島を襲うかもしれない」予報があり、しかも超大型台風。21号の例もあり、村には来てほしくない。昨年同様、台風・天災の多い年です。強靱化工事が1段落した千早では、昨年25号台風で山地を除き災害が無かった。

国土強靱化の時代、大切な地域を守るため、土砂災害が予想できる地域は、砂防堰堤、河川改修を国・府に要望する。

先の風台風21号では、木材価格下落により山林地主が山に対する意識がダウンしており、除伐間伐が出来てない山が増えた。村単独の間伐補助金で林業従事者の意欲を少し刺激したようだ。棚田農業、林業、今の時代、非常に不利な産業だが、少しずつでも元気回復に向かって前進してほしい。

村は自然の成長スピードに財政が追い付かない状況だが、農業、林業衰退を止めるとともに、新しく移住してきた若い人たちと共に、山カフェなど、自然と共生した観光産業を新展開出来ないか、動きの遅い村住民に成功例を示したい。いちごプロジェクトの成功が住民へのインパクトにならないか、守りから攻めへ住民の意識改革を望む。

9月26日（水）

### 7:30

登山口へ。既に2人が観光バスに乗車している。このバスは3箇所を客を拾って行く。時間調整の為、しばらくして出発。千早では私と両老人会会長2人の3人、次は上東阪16人。バスの集合地は道の駅かなん 予定時間8時30分。下東阪数人、保健センター前で議長、社協会長、診療所のドクターを乗せ、道の駅へ15分早着。既に1台停車、すぐに3台集まり出発。今日の目的地は鞆の浦、かなり遠い。車は近畿道、いつものことながら車の流れが悪い。大阪の大動脈だが、停まっては流れの連続。モノづくりの町八尾、東大阪をつなぐ道路がこの状態では、大阪から企業が逃げて行くのは当たり前。高速道路はいつでも迅速に物流を支えるべきだ。

長期にわたる道路網整備不足で、大阪府の地番沈下が1番目立っている。長時間のノロノロ運転を過ぎやっと中国道へ、順調に走り始める。宝塚トンネルの渋滞は無し、15時前、鞆の浦 到着。

1時間30分のウォーキング、健康福祉大会、歩きは健康の元。

ここは周防灘と大阪湾の間、備後灘、村上水軍活躍の中心地。昔は潮の満ち引きを利用し瀬戸内海を航行していたので、汐待の港として栄えた。足利尊氏も湊川の戦いの途上、鞆の浦で汐待をした。町を歩くと昔の繁栄をしのばせる大きな蔵、蔵の連続。保命酒(16種の薬草か

## 村長の日記

---

らエキスを抽出したりキュール、養命酒のルーツ？養命酒より成分が2つ多いらしい)を健康の為1本買って宿へ。

宴会の席で皆さんに、健康の為 村の診療所（新倉先生は優秀なドクターであり、送迎もする健康の為診療所）のご利用をお願いし、10月1日から役所内で郵便局を開局するので、こちらもご利用もお願いした。

今年は約90名皆さん、相変わらず非常に元気、皆さんを見ていると定年60歳を延長すべきと思う。ITなどは無理としても、人生経験に基いた判断業務など、まだまだ活躍できる人たちが多い。

10月27日（木）

### **9:00**

出発。大三島にある 伯方の塩 工場。瀬戸内海の塩屋さんは大きな塩田を持ち、塩を作っている... と思っていたが、我々が使っている塩はメキシコ、オーストラリアから輸入された塩から、私たちがいつも使う塩が作られる。原料塩を海水に溶かし24%の塩水を作る(海水は3%)、海水に含まれているミネラル分を取り入れ、ごみを取り水分を蒸発させて塩となる。

塩には沢山の種類があり、焼き魚、ステーキに良い つぶ塩 と 焼き塩 を買った。生活に欠かせない塩だが、いろいろな使い道と共に、たくさん種類がある事がわかった。

後は神社にお参りをした後、13時に大三島を出発、帰路に着く。千早に着いたのは19時30分、6時間30分の距離はかなり遠い。誰一人疲れたと言わなかったのは、皆さん若い証拠だ。今回の健康福祉大会旅行では、バスで移動中のビール、酒の飲酒は無くなった。ツアーがスマートになったのか？。

9月30日（日）

### **台風24号来襲**

今年2回目の台風村は災害対応。

6時47分 暴風雨警報発令、4班職員召集。

8時20分 各区長へ避難所開設通知。

8時30分 避難所3カ所開設(くすのきホール、B&G海洋センター、千早小吹台小学校体育館)

## 村長の日記

---

10時00分 村内全域避難準備・高齢者避難開始を発令

10時30分 大雨警報(土砂災害)発令

11時20分 5・6班、16時出勤を連絡

15時00分 避難者、くすのきホール17名、千早小吹台小2名。

台風は20時頃、田辺市近くへ上陸。21号台風は村の西側を通り淡路島から明石の近くへ上陸した、したがって台風の進行スピードと台風の風の相乗効果で強い風が吹いた。今回は田辺市あたりから北東に進行する台風、風は金剛山地にさえぎられてあまり強くない。TVのニュースを見ながら「助かった」と思った。

20時 小吹台 げんき保育園下の大規模土砂崩れ発生。暗い中、付近の道路を通行止、後は明るくなってから。

財政的にも、マンパワーでも比較的弱い村にとって、台風の被害は非常に困る。特に困るのは停電、近年の家は全て電気で動いている。

高齢化率府下 No.1 の村、高齢の婦人が多い村では、電気が切れると何もできない人が多い。2~3日停電すると命の危険が増す。関電さんに、ただお願いするだけ。